

大曲大森羽後線 安良町バイパス 事業概要

位置図



事業の目的

- 羽後町安良町地区～新町地区を通る現道は、全幅6mと狭隘なうえに、家屋が連なり屈曲部も多いため、羽後明成小学校に通学する児童や道路利用者の安全な通行に支障をきたしており、通学路や生活道路の安全・安心確保のため、抜本的な対策が必要となっていました。
- 大曲大森羽後線は、羽後町の自動車関連企業等を支える重要な物流ルートであるとともに、ユネスコ無形文化遺産である「西馬音内盆踊り」や「道の駅うご端縫いの郷」を核とした広域周遊観光を推進するためのルートとして重要な路線となっています。

バイパス整備で期待される効果

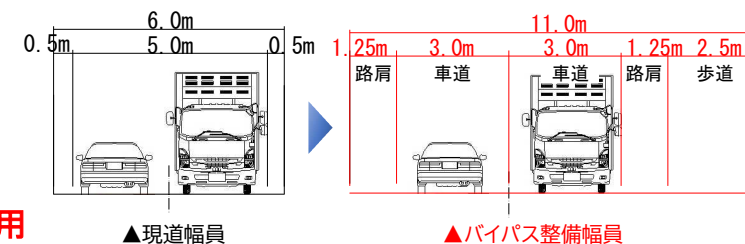
- 狭隘な現道からバイパスに通過交通を転換することで、通学路の安全を確保します。
- 広域道路ネットワークを強化することで、地域間交流を促進させ、羽後町の観光振興や産業振興の活性化を後押しします。
- 救急搬送や災害時における避難経路としての防災上の機能が強化されます。



▲すれ違い時に旅行速度が低下し車だまりが発生



▲路肩に堆雪した雪で車道にはみ出して通学する児童



▲現道幅員

▲バイパス整備幅員

《安良町工区事業概要》

事業名：交通安全対策事業（通学路緊急対策）

事業期間：平成25年度～令和7年度

整備延長：L=2.84km

// 幅員：W=6.0(8.5, 11.0)m

総事業費：約23億円

供用済み

L=1.86km

令和7年10月23日(木)供用
【全線開通】

L=0.98km

羽後明成小学校

至
大仙市

安良町バイパス L=2.84km



至 大仙市